



第101期 中間報告書  
2020年4月1日～2020年9月30日

夢から感動へーハートテクノロジー



(証券コード 1890)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

本報告書は2020年9月末時点での株主の皆様にお送りしております。

開く

濡れている場合は乾かしてから  
はがしてください

## ★ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第101期第2四半期の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、当事業年度を初年度とする中期経営計画「Being a resilient company」を推進し、刻々と変化する環境へのフレキシブルな対応、厳しい逆境にも立ち向かうことができる持続可能な「レジリエント企業」に変貌すべく、ぶれない基軸を持ち、人を育て、問題に向き合い、付加価値生産性を高めてまいります。

### 〔国内土木事業〕

国内土木事業の柱である官庁海上工事、民間事業、再生可能エネルギー事業、河川改修等の官庁陸上土木への取り組み強化及び今後のマーケットを意識した技術開発等に努めております。

### 〔国内建築事業〕

ストック市場を含めた多様な分野の計画的育成、組織営業力の強化、強い競争力の育成・保持及びBIM-DPX®の推進による設計・施工の効率化等に努めております。

### 〔海外建設事業〕

地域に根差した事業展開を基本とし、コスト競争力強化、リスクコントロール、人材育成及び協力会社との連携強化により、各拠点が補完しあえる安定した事業体制の確立等に努めております。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、感染症予防対策に万全を期し、国内工事の施工は中断することなく継続したものの、海外工事では、進出国の事情により、施工を中断せざるを得ない期間が長期化したしました。当社グループでは、従来からお取引のある顧客を始めとした案件の着実な受注及び優良サプライヤーによる調達ルートの安定化、進出国の施工体制維持に引き続き努めてまいります。

中期経営計画の達成に向け、役員・社員が一丸となって努力してまいりますので、皆様からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(BIM-DPX®:BIM-Digital Process Transformationの略。BIMによるデジタルプロセスの浸透により、建設業の取組みをあらゆる面でより良い方向に変化させようと当社が新たに定義したものの)



代表取締役社長

武澤 恭司

2020年11月

## ★ TOYOトピックス

### 北海道開発技術研究発表会において 北海道開発局長賞を受賞

2019年度 北海道開発技術研究発表会において、函館開発建設部函館港湾事務所と協働執筆した『函館港若松地区泊地浚渫工事におけるカルシア改質土の施工について』が、最高賞である北海道開発局長賞を受賞し、2020年6月に表彰状を受領しました。「北海道開発技術研究発表会」は、北海道開発事業に係る諸問題に関する調査、研究等の成果を発表することにより、技術等の向上とその普及を図ることを目的として毎年開催されています。今回で63回目を迎えますが、建設業者が受賞することは極めて希であり、大変名誉なことでもあります。

本工事は**カルシア改質土工法\***を港湾浚渫工事に本格的に採用した北海道開発局では初めての案件でもあり、施工にあたっては、北海道支店が、総合技術研究所、土木技術部、技術営業部、機械部等の各部署と緊密に連携して取り組んだ結果、今回の成果につながったものです。



受賞した山崎啓介氏



函館港若松地区泊地浚渫の施工状況

#### \*カルシア改質土工法

カルシア改質土は、浚渫土に固化材としてカルシア改質材（原材料：転炉系製鋼スラグ）を混合し、浚渫土の物理的・化学的性状を改質した材料であり、強度増進・濁り抑制・海域底質浄化などの効果を有している。



浚渫土とカルシア改質材の混合

## ★ TOYOトピックス

### 鳴尾浜自社賃貸物流倉庫が稼働開始

当社発祥の地である兵庫県西宮市鳴尾浜の社有地に、昨年より建設中であった自社賃貸物流倉庫が完成しました。1月31日に物流事業を営む契約者様への引き渡しを終え、3月1日より倉庫として稼働しております。

当社は大型倉庫建設の実績を多数保有しており、本物件もそのノウハウを十分に反映させたドライ倉庫となっております。設計施工にあたっては、設計部門・事業部門等社内関係部門が一体となり、品質、使い勝手、メンテナンス、耐久性など、あらゆる角度からベストを尽くしたことで、高い完成度を持つ建物に仕上がりました。

今後もこの精神で、お客様の高い満足度を得られるものづくりを心掛けてまいります。



全景



外観北面



使い易さに配慮した内部

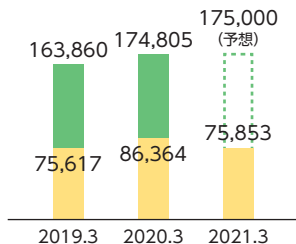
# ★ 2021年3月期第2四半期の連結業績概況

## 経営成績

当社グループの経営成績の状況は以下のとおりです。

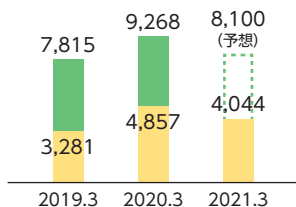
売上高 **75,853**百万円  
(前年同期比 12.2%減)

■ 通期 ■ 第2四半期  
(単位：百万円)



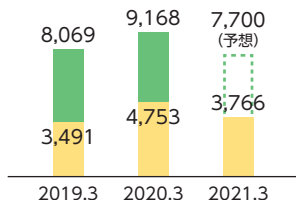
営業利益 **4,044**百万円  
(前年同期比 16.7%減)

■ 通期 ■ 第2四半期  
(単位：百万円)



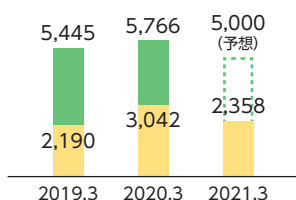
経常利益 **3,766**百万円  
(前年同期比 20.8%減)

■ 通期 ■ 第2四半期  
(単位：百万円)

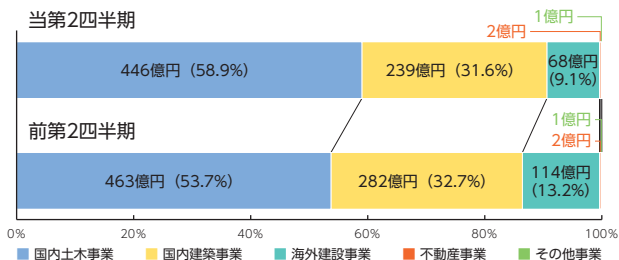


親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 **2,358**百万円  
(前年同期比 22.5%減)

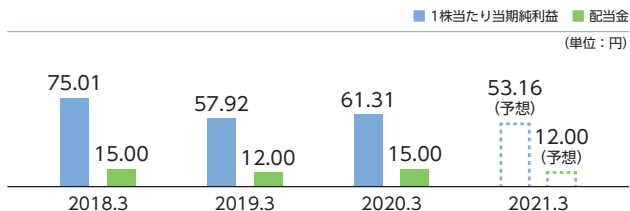
■ 通期 ■ 第2四半期  
(単位：百万円)



## セグメント別売上高



## 1株当たり当期純利益、年間配当金推移



## ★ 会社概要 (2020年9月30日現在)

社 名 東洋建設株式会社

英 文 名 TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.

創 立 1929年7月3日

資 本 金 14,049,367,174円

営 業 種 目 土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業

従 業 員 数 1,688名 (連結)